

挨拶

就任挨拶

副会長
松崎 昭



ただいま、ご紹介をいただきました川崎重工の松崎と申します。事業所が関西に偏っている関係で神戸に居ることが多くございます。我が国は知的財産戦略に関しましては、関係者の皆さんのご努力で、かなり活性化してきていると私自身は感じております。私どもの会社におきましても、知的財産戦略は経営の重要課題であることは間違いないところでございます。

今日、会員の方々の名簿を見せていただきましたけれども、非常にいろいろな業種の方々の集まりであるという事実がありました。私は、これは非常に重要なことだと思っております。07年度の業務報告の中でも、異業種経営者を囲む座談会をされたということですが、この辺が非常に重要ではないかと思っております。

と申しますのは、一つの例で申し上げますと、例えば、がん保険の業界は話を聞きますと、競合する保険会社のことは当然調べますけれども、そこだけ見ていたら失敗するとのことです。現在のビジネスメカニズムというのは非常に複雑で、がん保険業界は保険業界も見られるけれど、何の情報をもっと集めているかと申し上げますと、製薬、創薬です。薬をつくる業界を一生懸命調べています。どういうことかと申しますと、がんの特効薬ができますと、がん保険はなくなるんです。がんになってから薬を飲めば治るのであれば、最初から保険に入る必要はないわけですから、がん保険業界というのは製薬、特に薬をつくり上げる創薬業界のところを一生懸命調べているわけです。そのように保険会社といえども、製薬業界の情報を調べなければ、ビジネスが将来どうなるか、リスクに対応できないということなのです。

もう一つ例を申し上げますと、皆さんよくご存じのように、最近、広辞苑が売れない、エンサイクロペディアが売れない。これはもう電子辞書があるし、インターネットがあるわけですから、出版業界は出版業界のことだけを調べていたらいいわけではなくて、電子情報産業の情報を知らなければいけない。そういう意味で異業種交流というのは非常に重要なことであって、私はこの日本知的財産協会の皆さんがいろいろな業種から集まってきておられるというのは、重要なことではないかと思っております。

当然、理事長からご説明がありましたまほろばプランの活動というのが日本知的財産協会の基本にあります。異業種交流という観点で、私も寄与できればと思っております。

ありがとうございました。